

平成 26 年度ジェネリック医薬品差額通知効果測定結果

1 対象基準

ジェネリック医薬品に切り替えた場合、1 薬剤当たりの差額が 100 円以上かつ被保険者一人当たりの差額の合計が 500 円以上の医薬品を処方された者

2 通知発送日

平成 27 年 3 月 20 日（金）

※ 平成 26 年 11 月調剤分データによる

3 対象者数

23,565 人

4 通知対象医薬品

循環器官用薬 呼吸器官用薬 消化器官用薬 糖尿病用薬など

5 診療年月別切替人数・切替率

	診療年月		
	平成 27 年 4 月	平成 27 年 5 月	平成 27 年 6 月
上：切替人数			
下：切替率	1,583 人 6.7%	2,078 人 8.8%	1,875 人 7.9%

※ 通知された者のうち、ジェネリック医薬品に切替えた被保険者の人数・割合

6 診療年月別削減額（患者負担相当額を含む）

削減額	診療年月			年間見込額
	平成 27 年 4 月	平成 27 年 5 月	平成 27 年 6 月	
	6,517 千円	8,967 千円	7,651 千円	92,540 千円

7 ジェネリック医薬品利用実態（平成 27 年 7 月調剤分）

後発医薬品 利用割合	数量シェア	
	先発品	後発品
	48.7%	51.3%

※ 1 数量シェアは、代替不可先発薬を除いた新基準によるもの

※ 2 全国平均後発医薬品利用割合 58.4%（平成 27 年 3 月現在）

（出典：「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」（厚生労働省保険局調査課））

【参考】平成 27 年度ジェネリック医薬品の差額通知実施状況

1 対象基準

ジェネリック医薬品に切り替えた場合、1 薬剤当たりの差額が 100 円以上かつ被保険者一人当たりの差額の合計が 300 円以上の医薬品を処方された者

2 通知発送日 平成 27 年 9 月 25 日（金）

平成 27 年 5 月の調剤分データによる

3 対象者数 47,472 人